

すべてが最高最善の方向に進んでいる事に感謝します



秋晴れの10月4日の講演会

たくさんのお申し込みをいただいて、気づけば120名の定員オーバー
ありがとうございました~!!

太田東西の前フリのあいさつ、覚えています？

「食欲の秋、スポーツの秋、行楽の秋も結構なことですが、
生きることを真剣に考える、教養を深める秋も大切だと思います」

とにかく今のご時世、忙しくて慌ただしい。学校、部活、仕事、家に帰っても
テレビ、ケータイなど雑多な毎日で、心が休まる暇がない。

家族が揃って『生きる意味』を思索するなんて、もってのほか。
静寂なお寺で「生きるとは？死ぬとは？」じっくり耳を傾ける。
とっても有意義な時間をお過ごしいただけたと自負しています。

さて、ソフィアさんの講演

何人かのお客様は、ハンカチで目頭を・・・(><)
ソフィアさん自身も、声を詰まらせる場面がありました。
お話の内容すべてに迫力がありましたが、
私は2つ、特に印象に残っています。

1つは、16歳の次女さんが心の病になったこと。
病院で抗うつ剤を処方された。
しかし、その薬の副作用でますます症状がひどくなった。

「死にたい・・・」

そう何度も繰り返す娘を前に、母親であるソフィアさんは、仕事を辞めて
24時間、娘さんのそばにいた。
目が離せない娘。ソフィアさんの睡眠は2時間・・・極限の状態
これまで夫のDVや借金返済、職場のイジメなど、様々な苦難を乗り越えた
ソフィアさんだったが、「娘の死」だけは無理だと、ついに心中を決めた。

真夜中、娘を助手席に乗せて、高速道路を猛スピードで飛ばした。
「そんなに死にたいなら、ママもいっしょに死んであげる！」
そう言い放ち、高速道路の壁に激突しようとしたその時、娘さんが
「ママ、やめて！！」 サイドブレーキを引いて、車はスピンして停まった。
それを期に、娘さんは快方に向かって行った。

まさに、『母は強し！』

今、お子さんのことで悩んでいる方もいるでしょう。「勉強しない」「ゲームばかりしている」「親の言うことを聞かない」「不登校」「ニート」など。

本気でお子さんを自分の思うように変えたいのなら、ソフィアさんを見習って
“死ぬ気”でお子さんに向き合ったらどうでしょうか？

親が文句ばかり言って、自分が変わらないから、何も変わらないのです。



2つめは、お父様との関係でした。
ソフィアさんのお父さんはヤクザの組長。
気性の荒さから、お父さんはお母さんに毎日暴力を振っていた。
そうした光景を幼い時から見続けたソフィアさん。4才の時から
「どうかお父さんがお母さんに暴力を振いませぬように」
神様に祈るようになっていた。それが神様の存在を知るきっかけにもなった。

やがて両親は離婚。成人したソフィアさんは
生活苦のお父さんに仕送りを続けていた。
反抗一つしない、文句一つ言わずに「いい子」を
続けたソフィアさんだったが、ある時、
一気に父親に怒りが爆発した。
すると・・・常軌を逸したお父さんは
日本刀を持って、娘を殺しに家に来た！
警察、パトカーに囲まれ、父親は連行された。

その時、ソフィアさんは父親を心底憎みながらも
霊感で父親の慟哭を聞くことになる。



「助けてくれ～、俺はどうしたらいいのかわからないんだ！ただ誰かに愛されたいだけなのに、なんでこんなことになったのだろう・・・俺はいったい、どうしたらいいんだ・・・」

父のその『魂の叫び』を感じ取った時、娘は号泣した。
そして「今まで憎んできた父を許そう！」と決心、行動に移す。
娘の看病の中で、病床の父は「ありがとう」と言って、安穩に昇天された。

親のことで悩んでいる方も多いです。
虐待した親、お金を無心する親、自分の価値観を押し付ける親など・・・
子どもを虐待した親は、自分が老いて子どもが自立すると、一転、子どもに甘え
依存する傾向があります。子どもの「心の傷」に気づくこともなく。

「許せない！」
そうした感情を持ちながらも、無意識の中で「親不孝者」というレッテルを
貼られることを恐れ、罪悪感に苛まれ、仕方なく親の言いなりになる。

父を許せた娘。娘を救った母。
娘として、母としての『究極の母性』を感じました。

父親を許したいのに許せないという葛藤
娘をなんとしても死なせないという母心

悩み悩んだあげく、ソフィアさんはそれを『手放した』！
「相手に変わってほしい」「相手を変えよう」という執着を手放してから、事態は進展していった。そして
ソフィアさんは神様からのメッセージをいつも耳にしていた。

「相手の言動を見るのではなく、相手の魂の声を聞きなさい！」

話は尽きないので割愛いたしますが、とにかく講演会で学んだことは

「人になんとかしてもらおう」「相手に変わってほしい」と思っている間は
何も変わらない。相手への怒り、憎しみ、嫉妬の感情、被害者意識を捨てる努力をしない限り、同じような不幸が次々にやって来る。

「自分から変わろう！」と思わなくては、何をやっても変わらない。

幸せな人生に必要なものは、自分に向き合う「覚悟」「勇気」「行動力」。
太田東西がソフィアさんと出会ったのは、偶然ではなく必然だと思っています。
職種は違えど、お客様に対する向き合い方、導き方が同じだから。

誰かのせいにして楽になっても、自分の生き方に目を向けず、自分の問題から逃げ続けた人は、終末、死の恐怖におびえ、死んでから後悔するかもね。

「もっと頑張ればよかった、あ～なんてバカなことをしたんだ・・・」と。
まあ～～死んでみたら、その真偽はわかりますね(笑)

これ、当日、まとめとしてお見せするところ時間が足りませんでした。
来年、完結編 必ず開催しますからお楽しみに！('^-^*)/

人間が成熟していくということは
目に見えない関係、世界があるということに
気づいていくこと。
死の恐怖、死別の悲しみを乗り越え、ゴール
から逆算してしっかりと今を生きていくこと。
それが『魂』の成熟にもつながる。